



▶誇りと自覚を胸に大きく羽ばたけ!!

新春を迎えて早々の1月4日、新成人などで組織された実行委員会が企画した「第57回成人式」が市民会館で行われました。

今年、市内でめでたく成人の仲間入りを果たしたのは男子308人、女子343人のあわせて651人。式典では、新成人の代表がこれからの抱負を述べたほか、学生時代の写真がスライドで上映され、みんな懐かしそうに鑑賞していました。

また、式典終了後には交流会が催され、久しぶりに再会した級友や恩師と思い出話に花を咲かせていました。

新成人の皆さん、これから大人としての自覚をもつて、勉学や仕事、そして夢に向かって頑張ってください。

◀園児とふれあい 笑顔がたくさん

1月20日、富岡幼稚園の年長組が横島にある瀬戸内荘を訪問し、高齢者の人たちに歌やダンスなどを披露しました。

高齢者の人たちは、うれしそうに手拍子などをして、また、一緒に手あそびをして、とても楽しそうでした。岩崎トキさんは、「すごく元気な子たちでひ孫の小さな頃を思い出す。とても楽しかった。」と言っていました。高齢者の人たちにすごく喜んでもらった訪問でした。

(この取材は「いきいきチャレンジたいけん」で来庁した真鍋中学校2年の山本琢也くんが行いました。)



▶ごみを減らして 豊かな環境を

市は1月18日、笠岡市廃棄物減量等推進審議会から廃棄物減量についての答申書を受け取りました。

この答申書には、指定ごみ袋を30ℓに一本化し、無料配布の枚数見直しをすることのほか、ごみの適正処理のための広報活動やマイバッグ運動の普及などの内容が盛り込まれています。市では、答申の内容を協議しながら、平成18年度から指定ごみ袋などの制度を見直す予定です。



◀100歳おめでとう

1月5日、市と県は満100歳の誕生日を迎えられた高田倉代さん(笠岡)と菅本義一さん(生江浜)を訪問し、お祝いの記念として羽毛布団と吉備焼のつばを贈りました。

高田さんの長寿の秘訣は、「積極的、前向きに生きる」ことだそうで、地域で愛育委員や婦人会などの委員をされていた頃は、まさに秘訣のとおり積極的に活動をされていたそうです。

菅本さんの長寿の秘訣は、「子どもや孫、ひ孫に囲まれてにぎやかに暮らすこと」だそうです。当日もひ孫の元哉くんからひ孫みんなで作ったお祝いメダルを首にかけてもらい、うれしそうにされていました。

高田さん、菅本さんこれからもお元気でいてください。

